学校番号	311

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）《継続使用》						
副教材等	WRITE　数学Ⅱ（東京書籍）《継続使用》						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学の学習方法は、以下の３つです。

①毎時間の授業を大切にし、ノートをしっかりとる。
　⇒ノートは１番の参考書です。復習するときのことを考え、途中の計算を丁寧に書きましょう。
②例題を真似するところから始める。
　⇒例題は基本的な問題の集まりです。解けるようになるまで、暗記する程に繰り返し学習しよう。
③よく分かっている人に質問しよう。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
　⇒自分で考えて、どうしても分からなかった場合は、すぐによく分かっている人（先生、友人等）に質問し１つ１つ解決しておこう。

2　学習の到達目標

1，２学年で学習した内容を復習しながら、基礎的な内容を理解し、応用に発展させることができる。さらに、理解の実態を見極め、小テスト・課題などで学力の定着をはかることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	図形と方程式、微分・積分に興味をもつとともに、それらを活用し数学のよさを認識している。	物事を数学的に考察し、多面的、発展的に考える事が出来る。 数学的なものの見方を身につけており、それにより物事を判断し、思考を論理立てて説明する事が出来る。	基礎的な計算力、数学的な処理力を身につけている。総合的な問題に取り組み解決する事が出来る。	図形と方程式、微分・積分についての概念や定義を理解している。
評価方法	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	①平均変化率	○			○	a:微分係数・導関数に興味・関心を持てている。 b:微分係数・導関数の内容から、さらに発展的に考察できる。 c:微分係数・導関数を正しく利用し、値を求めることができる。 d:微分係数・導関数の原理・概念を理解できる。	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 定期考査
		②微分係数		○	○			
		③導関数	○			○		
		④導関数の計算		○	○	○		
1学期期末	5章 微分と積分 2節 導関数の応用	①接線の方程式			○	○	a:微分と関数のグラフや値の変化に興味・関心を持てている。 b:関数のグラフと微分の学習内容から、さらに発展的に考察できるか。 c:微分法を利用し、グラフの様々な特徴を求めることができる。 d:微分と関数のグラフの原理・概念を理解できる。	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 定期考査
		②関数の増減	○	○				
		③関数の極大･極小			○	○		
		④関数の最大･最小		○	○	○		
		⑤方程式･不等式への応用		○	○	○		
2学期中間	5章 微分と積分 3節 積分	①不定積分	○		○	○	a:積分・不定積分に興味・関心を持てている。 b:積分・不定積分から、さらに発展的に考察できる。 c:積分・不定積分を正しく利用できる d:積分・不定積分の原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 定期考査
		②定積分	○		○	○		

2学期期末	5章 微分と積分 3節 積分	③定積分と面積	○	○	○	○	a:定積分に興味・関心を持てている。 b:積分法から、さらに発展的にグラフとその面積について考察できる。 c:定積分を正しく利用し、面積を正しく求めることができる。 d:定積分の原理・概念を理解できるか。	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の 提出状況 定期考査
	4章 指数関数・ 対数関数 1節 指数関数	①整数の指数	○			○	a:指数と性質に興味・関心を持てている。 b:指数関数の学習内容から、さらに発展的に考察できる。 c:指数関数を正しく利用し、解答を導くことができる。 d:指数の学習内容の原理・概念を理解できる。	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の 提出状況 定期考査
		②累乗根	○	○	○			
		③有理数の指数		○		○		
		④指数関数とそのグラフ		○	○			
3学期	4章 指数関数・ 対数関数 2節 対数関数	①対数とその性質	○			○	a:対数と性質に興味・関心を持てている。 b:対数関数の学習内容から、さらに発展的に考察できる。 c:対数関数の内容を正しく利用し、解答を導くことができる。 d:対数の学習内容の原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の 提出状況 定期考査
		②対数関数とそのグラフ		○	○	○		
		③常用対数		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 数学的な見方や考え方
c: 数学的な技能　　d: 知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。